

事業番号	05 10 03	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	動物愛護管理対策事業		部局	健康福祉部	課・室	食品・生活衛生課
			実施期間	H25～	E-mail	shokusei@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標	県民一人当たり家計可処分所得					
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減					

## 1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	<p><b>【現 状】</b> 長野県動物愛護管理推進計画に基づき事業を推進しており、保健所における犬猫の致死処分数が大幅に減少するなど順調に進行している。 一方、動物愛護センターにおける動物ふれあい事業は1回ごとの参加者が少ない傾向が続いており、参加人数が目標値に達していない。 動物愛護センターで実施しているハローアニマルこどもサポートプログラムを全県に展開するため、「困難を抱える子どもへの動物介在活動による支援事業」を長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」の施策のひとつに位置づけ、各地域の環境基盤づくりを進めている。</p> <p><b>【目指す姿】</b> 人と動物が共生する潤い豊かな社会の実現を目指し、動物愛護の普及啓発の推進と適正な飼養管理の推進を図る。動物介在活動を通じ、困難を抱える子どもを支援するとともに、各地域で独自に動物介在活動ができるよう基盤づくりを進める。</p> <p><b>【実施内容】</b> 動物介在活動(ハローアニマルこどもサポート含む)、しつけ方教室の実施 など</p>

指標及びその達成状況 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)		H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業 コスト	前年度繰越	0	0
1	犬猫致死処分頭数	441	456↓	442↑	前年度を下回る	達成		現計予算	103,599	167,989
2	動物ふれあい事業の参加者人数	8,464	9368↑	7505↓	10,000	未達成		合計(A)	103,599	167,989
3	ハローアニマルこどもサポートプログラムに参加した児童生徒の人数	140 (延べ人数)	41↓	45↑	前年度を上回る	達成		うち一般財源	91,225	94,802
4								決算額(B)	98,078	162,342
							職員数(人)	31	31	

成果指標設定理由	<p>①動物愛護管理推進計画で平成35年度までに致死処分頭数を平成18年度比80%減を目指すこととしている。</p> <p>②動物ふれあい事業は動物愛護の普及啓発の要となるため指標として設定した。</p> <p>③ハローアニマルこどもサポート事業拡充により、参加した児童生徒が在家ではなく、外で活動できた指標となるため設定した。</p>
----------	--

達成状況の分析	<p>犬猫の致死処分頭数は442頭であり、前年の処分頭数を14頭下回り、また、平成26年度以降は動物愛護管理推進計画で設定する目標値に達している。致死処分頭数には負傷動物の収容中死亡等も含まれていることなどから、平成28年度以降は横ばい状態となっている。動物ふれあい事業の参加者人数は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年度に比べて1,863人減少した。ハローアニマル子どもサポートの参加者は、前年度を4人上回る45人で、延べ328回328人が参加した。</p>
---------	--

主な取組	<p><b>①動物愛護管理施策の推進</b> 環境大臣が定めた基本指針に基づき、本県の動物愛護管理に係る施策を総合的かつ計画的に推進するため「長野県動物愛護管理推進計画」を策定し施策を推進している。 &lt;基本理念&gt; 人と動物が共生する潤い豊かな社会の実現 &lt;基本目標&gt; ・動物愛護の普及啓発の推進：教育・広報活動、ボランティア育成、動物愛護フェスティバル開催、災害対策強化等 ・適正な飼養管理の推進：犬猫の引取り数・致死処分頭数減少、所有者明示実施率向上、危害・迷惑防止等</p> <p><b>②困難を抱える子どもへの動物介在活動による支援事業</b> 動物愛護センター(ハローアニマル)を拠点として行っている、動物介在活動を通じて不登校やひきこもりなどの困難を抱える子どもを支援する事業を、長野県総合5か年計画「幸せ信州創造プラン2.0」において自殺対策事業のひとつとして位置づけ、独自に動物介在活動を行うことができる基盤づくりを目的として県内各地で独自に動物介在活動を行うことができる基盤づくりを目的として実施。 ・ハローアニマル子どもサポート ・おでかけハローアニマル子どもサポート：発達心理カウンセリングセミナー、ふれあい活動、個別相談 ・セラピーアニマルサポーター養成講習会</p>
------	---

## 2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのよう にしてい きたいか	<p>動物の愛護及び管理に関する法律に基づき長野県動物愛護管理推進計画を定め各施策を推進しており、現時点までに計画による目標は概ね達成している。</p>	<p>国から改正法及び改正基本指針が示されたことから、改めて県内の現状を把握するとともに、推進計画について必要な見直しを行う。</p>

事業番号 05 10 03 細事業一覧（令和元年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 ■点検

事業名	動物愛護管理対策事業	部局	健康福祉部	課・室	食品・生活衛生課
-----	------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	動物愛護管理対策事業		7,860 千円	7,986 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	動物愛護管理対策	直接	狂犬病予防のための徘徊犬の保護抑留及び返還。狂犬病予防及び動物愛護管理技術研修会の実施（1回）。動物愛護推進員の委嘱（H30 204名委嘱（任期2年））	
2	動物愛護フェスティバル	直接	9月23日に三郷文化講演（安曇野市）にて動物愛護フェスティバルの開催	
3	保健所動物飼養管理委託	委託	土日、祝祭日における保健所内の犬・猫保護管理施設の飼養管理（県内4保健所：佐久、諏訪、飯田、長野） 委託先：テスコ(株)	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
2	犬等管理所運営事業		9,353 千円	8,926 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	犬等管理所運営・犬等の収集運搬	委託	保健所から犬等管理所までの犬猫の収集運搬（2コース）。犬等管理所の運営管理（2コース合計31回）。犬等管理所の運営管理（2か所計80日）委託先：朝日センター(株)(管理所運営)、日本通運(株)(収集運搬)	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
3	動物愛護センター事業		80,865 千円	145,430 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	動物愛護センター運営	直接	動物愛護の普及啓発。動物介在活動の実施。しつけ方教室の実施（33回）。地域猫の活動支援。	
2	動物飼養・施設管理委託	委託	動物の飼養管理、施設管理業務・施設保守点検業務 委託先：テスコ(株)	
3	困難を抱える子どもへの動物介在活動	直接	県内4地域において、動物愛護センターの動物介在活動の紹介（計45回）、人材育成のための研修会の実施（計14回）	
4	困難を抱える子どもへの動物介在活動（子どもサポートセミナー委託）	委託	子どもサポートセミナー（発達心理カウンセリングセミナー、個別相談）の実施 委託先：特定非営利活動法人長野県子どもサポートセミナー	